



としょかんだより 2017年10月号 第210号

TOYOOKA
コウノトリ悠然と暮らすふるさと

豊岡市立図書館

豊岡市京町5-28

TEL:0796-23-6151

FAX:0796-24-1819

toyolib@city.toyooka.lg.jp

みみずく

第3回図書館まつり 29日(日)開催!

図書館の秋のお楽しみ、図書館まつりを今年も開催します。イベント参加の申込みは**10月5日(木)**から開始します。当日参加可能なイベントもあります。

子ども折り紙教室

申込みが必要です。

地元折り紙作家の水嶋勉先生を講師に迎え
折り紙を使って作品を作ります。

対象：5歳以上の子ども（定員20名）

親子囲碁入門講座

申込みが必要です。

柳生眞司先生と囲碁の楽しさに触れてみましょう。子どもだけでの参加も可能です。

対象：5歳以上の子どもと保護者（定員20名）

本の交換会

持ち寄った本を交換できるミニコーナーです。

持ち込みは一人10点までです。

（雑誌・マンガは不可）

対象：どなたでも

大人のお話会

大人に向けたストーリーテリングや詩の暗誦を行います。大人になったからこそ感じられる「おはなし」の魅力。一度、体験してください。

対象：小学5年生以上

他にも、演奏会やボランティア活動体験などイベント盛りだくさんです。
ぜひ、お越しください。



読書週間

本に恋する季節です！



2017・第71回
読書週間
10/27～11/9

文学賞歴代受賞作品展

10月27日(金)～11月9日(木)は読書週間です。それにあわせて図書館では、歴代の文学賞受賞作品と、今年度の受賞作家の他の作品を集めたテーマ展を行います。展示期間は10月23日(月)～11月6日(月)です。

本に恋する季節です。図書館は素敵な本との出会いを応援しています。

生誕150年 夏目漱石・正岡子規

日本文学の発展に大きな影響を与えた夏目漱石と正岡子規は、共に慶應3年（1867年）に生まれました。東京大学予備門の頃に二人は出会い、共通の趣味である寄席の話題などを通じて親交を深めました。その友情は、子規が亡くなるまで変わることなく続いたそうです。今回は、漱石と子規の交流や人物像について書かれた本を中心に紹介します。

（福井・本谷）

夏目漱石

本名 夏目 金之助（きんのすけ）

出身地 東京都

生没年月日

慶應3年1月5日（旧暦）～大正5年12月9日
(1867年2月9日～1916年12月9日)

正岡子規

本名 正岡 常規（つねのり）

出身地 愛媛県

生没年月日

慶應3年9月17日（旧暦）～明治35年9月19日
(1867年10月14日～1902年9月19日)

漱石ってどんな人？

『夏目漱石解体全書』

香日 ゆら//著 910.2/ナツ 一般 6

『漱石の思ひ出』

夏目 鏡子//述 松岡 讓//筆録 910.2/ナツ 一般 6

『夏目漱石論』

蓮實 重彦//著 B910.2/ナツ 一般 26

『漱石追想』

十川 信介//編 B910.2/ナツ 一般 26

子規ってどんな人？

『正岡子規入門』

和田 克司//編集 910.2/マサ 一般 6

『正岡子規』

ドナルド・キーン//著 911.3/マサ 一般 6

『正岡子規』

栗津 則雄//著 B911.3/マサ 一般 26

『子規を語る』

河東 碧梧桐//著 B911.3/マサ 一般 26

同世代を生きた漱石と子規

『子規のココア・漱石のカステラ』

坪内 稔典//著 911.3/マサ 一般 6

甘いものが好きだった二人。俳人ネンテン先生が、子規と漱石の交遊や生活のエピソードにからめて、四季折々の暮らしを綴る。



『ノボさん 小説正岡子規と夏目漱石』

伊集院 静//著 F/イジ 一般 7

生命をかけた文学への挑戦、友への愛。そして、夢の中を走り続けた二人を描いた青春小説。



『漱石・子規往復書簡集』

夏目 漱石・正岡 子規//著

和田 茂樹//編 B915.6/ナツ 一般 26

青春時代の手紙から、深い友情を感じさせる晩年の手紙まで、年代順に収録。



『回想子規・漱石』

高浜 虚子//著 B911.3/タカ 一般 26

師である子規との交流を描いた「子規居士と余」、漱石との交友を描いた「漱石氏と私」の二編を収録。

こんな作品もいかがですか？

- 『続明暗』水村 美苗//著 BF/ミズ 一般 29 漱石最後の作品で未完の「明暗」を、文体そのままに綴った続編。
- 『賤作吾輩は猫である』内田 百間//著 BF/ウチ（日高分館所蔵） 漱石の弟子であった百間が書き上げた続編。
- 『坂の上の雲 全6巻』司馬 遼太郎//著 F/シバ 一般 9 秋山好古・真之兄弟と正岡子規を主人公に描いた作品。
- 『兄いもうと』鳥越 碧//著 F/トリ（日高分館所蔵） 子規を支え続けた妹の律。壮絶な兄妹愛を描いた作品。
- 『文豪の素顔』高橋 敏夫・田村 景子//監修 910.2/ブン 一般 6 明治から戦後の文豪31名の素顔に迫る。



子どものほんだな



『カイとカイサのぼうけん』

エルサ・ベースコフ//作・絵

まつむら ゆうこ//訳

福音館書店 (E/ベス) えほん 11

カイとカイサの兄妹は、森の奥深くに住んでいます。二人はいつも、倒れた枯れ木に飛び乗って遊んでいました。ある日、いたずらトムテが枯れ木に魔法をかけました。そうとは知らず、カイとカイサが枯れ木に飛び乗って「さあ、出発だ！」と言うと、突然、枯れ木がドラゴンのように空に舞い上がり、「さあ、どこに行きましょう」とたずねました。一行は、海を越えて、おはなしの国へ飛んでいきました。小さな島にたどり着くと、ドラゴンに見張られたお姫様がいて…。

昔話のようなおはなしの国で、子どもたちが囚われのお姫様を助けて大活躍する物語。絵は、中世絵画風のおはなしの国と豊かな自然が、柔らかな色彩で描かれています。深い森、トムテ、トロルなど北欧らしさも感じられます。読んでもらえば5歳くらいから。(奥)

『シャーロットのおくりもの』

E.B.ホワイト//作

ガース・ウイリアムズ//絵 さくま ゆみこ//訳

あすなろ書房 (GY/ホワ) じどう 9

牧場で生まれた子ブタのウィルバーは、仲間と共に毎日平和に暮らしていました。ところがある時、自分がいずれは食べられる運命であることを知ってしまいます。嘆くウィルバーに声をかけてくれたのは、クモのシャーロットでした。シャーロットは、クモの糸で巣に「たいしたブタ」という文字を浮かびあがらせ、人間がウィルバーを特別なブタだと思い込むよう仕向けています。シャーロットの思い通り、特別なブタとして有名になったウィルバーは、品評会に出場することになります。優秀と認められれば、食べられずにすむかもしれないと、二匹は決死の覚悟で望みますが…。

動物の世界を舞台に、二匹の確かな友情を描いた物語。利益を考えず全力で友達を助けようとするシャーロット。ウィルバーの生きたいという強い思い。ウィルバーは助かるのでしょうか。小学3年生くらいから。

(野澤)

子ども点字絵日記教室 夏休みの思い出BOOK 展

10月18日(水)～29日(日)の間、夏休みに開催した「子ども点字絵日記教室」と「夏休みの思い出BOOK」で子どもたちが作った作品を展示します。

子どもたちが作った世界に一つだけの作品を、ぜひ、見に来てください。



10月8日は とよおか家族の日

家族で過ごす時間を通して、子どもたちが温もりを感じられるようにと、平成24年に設定されました。図書館でも、家族と一緒に楽しめる映画を上映したり、全館で「家族」をテーマにした本を紹介しています。図書館まつりにも、家族で参加できるイベントがあります。

10月は家族みんなで図書館へGO！

10月の行事予定(本館)



イラスト協力 WANPUG

◆0~2歳児と保護者

日時：4日（水）11:00～
場所：おはなしのへや
内容：絵本の読み聞かせ
　　絵本のアドバイス
　　食育相談

おはなしの
ゆりかご

◆3歳までの乳幼児と保護者◆

日時：18日（水）
　　9:30～11:30
場所：豊岡市民プラザ
　　ほっとステージ
　　（アイティ7階）
内容：絵本の読み聞かせ
　　図書の貸出・返却

おはなしのゆりかご
in
なかよし広場

◆3歳ぐらいの幼児と保護者

日時：4日・11日・25日（水）
　　10:30～
場所：おはなしのへや
内容：絵本の読み聞かせ

いっしょに
おはなし会

◆4歳以上◆

日時：28日（土）
　　14:30～
場所：おはなしのへや
内容：詩・絵本の読み聞かせ
　　ストーリーテリング

おはなし会

◆5歳以上◆

土曜としょかん
10月はお休みです

※各種おはなし会の申込みは不要です。
今月の土曜としょかんはお休みします。

家族でとしょかん映画会

10/7（土）・8（日）

場所：図書館本館 2階 視聴覚・講演室

大人も子どもも楽しめる映画が2本！

10:30～ (2012年/110分)
「ムーミン冬の巻」

パペットアニメーション ムーミン谷の冬

13:30～ (2014年/113分)
「美女と野獣」

実写版 日本語吹き替え上映

10月の図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

■色の日が休館日です。

各分館でもいろいろな行事をおこなっています。
詳しくは、豊岡市広報紙または分館だより、
ホームページをご覧ください。
<http://lib.city.toyooka.lg.jp/>



→スマホサイト

フェイスブック→

